

平成 29 年東京ふるびら会報告

11 月 18 日、「うすけぼ一南青山店」で東京ふるびら会が開催されました。

東京近郊からはもとより、ふるさと古平そして札幌、神戸、名古屋から、そして今回は、『古平町ホームページ』を見たとの事で、新たに青森からも馳せ参じて頂き、総勢 44 名が一堂に会しました。

高橋洋幹事の司会進行で、堀由清会長の挨拶により総会がはじまり、会計報告、会計監査報告、予算案が満場一致で承認されました。

新会員は西舘昌巳(前宝海寺住職)さん、榎本雅雄さん、小寺政勝さん、大保はるみさん、福島恵美子さん、磯貝祐子さんの 6 名の方で、各自に自己紹介を頂きました。

貞村英之町長は就任されて半年が経過し、古平町の現状を鑑み、これからの方向性・方針が語られました。

続いて『ふるびらの祭』と題して西舘昌巳様に講演して頂きました。天狗と猿田彦の違い、天狗(猿田彦)の火くぐり、古平の猿田彦の雄大果敢な所作と、他で祀っている猿田彦の所作の違い、そしてその起源、等々を熱厚く、熱く語って頂きました。みんな自分が持っている自分が体験した当時のお祭りを思い起こし、懐かしく聞き入っていました。

相良孝一札幌古平会会長の乾杯で懇親会に入りました。

久々・・・の再会、ふるさと談義に花が咲き、時の経つのも忘れ、和やかに談笑、多いに盛り上がりました。そして古平発祥のタラ釣節が、堀智子さん・修彰さん親子の三味線と踊りで披露され、会場はより一層盛り上がりました。

そんな中、古平祭りへの募金箱が回り、皆さんの厚意御により 46,500 円が集まり、古平祭りに寄付して頂くべく、堀会長より貞村町長にお願いしました。

お土産のたらこ・鮭とば・糠鯿等々が、抽選により皆さんに渡されました。

時の経つのは早いもの、古平に暮らしたあの頃を思い、古平小学校校歌、運動会の歌・・・そして“ふるさと”を合唱し、名残を惜しみ来年の再会を約束し、名達博吉福会長の締めめの発声で散会となりました。



今このホームページをご覧になっている 古平出身の貴方、そして縁故所縁の在る貴方へ

東京ふるびら会は、年に一度上記の様に集まり、ふるさと古平を想い親睦を深めている集まりです。貴方も、次回は是非参加してください。

平成 30 年の東京ふるびら会の日程が決まりましたら、直ちにこのホームページに載せて頂きますので、関心のある方、参加されたい方は事務局秋田までご連絡ください。

又、東京近郊に知り合いの方が居りましたらご紹介ください。

和やかな集まり、東京ふるびら会です。

〒 211-0001 川崎市中原区上丸子八幡町 1462-11

秋田 文英

Tel 044-422-7715

平成 29 年東京ふるびら会 アルバム

平成 29 年 11 月 18 日

